

**湯河原中学校給食導入に関するアンケート調査（２回目）の
結果に関する意見交換会**

- 1 日 時 平成 28 年 1 月 7 日（木）午後 1 時 30 分～
- 2 場 所 湯河原中学校 1 階応接室
- 3 出席者 旧湯河原中学校給食検討委員会委員 11 名のうち 9 名参加（含む教育部長）
事務局：青木学校教育課長、力石管理係長

4 案 件

- (1) 湯河原中学校給食導入に関するアンケート調査（２回目）の結果報告について
資料をもとに学校教育課長からアンケート結果報告を行う。

(2) 意見交換

アンケート結果について

- ・ デリバリー給食であれば弁当でも構わないと思う。
- ・ 家で作ったお弁当でもデリバリー給食でも飽きてしまうのは同じであると思う。
- ・ このようなアンケート結果であれば給食は必要ないのではないかと。
- ・ 好き嫌いもあるので、デリバリー給食だと残食も増えてしまうのではないかと。
- ・ 弁当との併用であれば、デリバリーを希望する生徒は家でお弁当を作ってもらえないと周りに思われているのではという心配を生徒が抱くと思う。
- ・ アレルギーの問題もある。事故が生じたこともある。
- ・ あまり積極的な前向きな意見は無いように見受けられる。前回のアンケート結果でもそうであったと思うが、正確性が無いように思う。児童・生徒・保護者で給食に関する価値観は違う。お弁当が作れないからという意見と温かくないからデリバリー給食は嫌だという意見とでは意見の質や重さが違うと思う。温かいやおいしいという感じ方も個々に違うし、量についても同じである。
- ・ 受け止め方の度合いが違うため、意見が様々なものになっている。弁当でなくなることのメリット・デメリットを示したうえでアンケートを取るべきだったと思う。ただ好き嫌いだけの判断と適切か否かの判断は違うと思う。

給食導入の課題について

- ・ 給食費で賄えるのか
 - ⇒ 給食費は食材費及び牛乳代に充当されますが、現在当たっている業者ですと 1 食 200 円以下で提供可能と聞いています。また、牛乳代は 1 本約 47 円ですので 1 食約 250 円程度と考えています。その他、人件費や光熱水費等の経費は公費で賄われます。ただし、業者としても 1 日の最低注文数は確保しなければならず、それを下回った場合は、公費で補償するようになると考えられます。
 - ⇒ 県内で最近デリバリー給食を始めた市は、全員喫食の原則であったが、給食費を払わないなど給食を断るケースが多く喫食率が低くなっており、市の負担が増えていると伺っています。
- ・ 中学校は配膳が問題。昼食なので 12 時頃としたいが、実際には 13 時近くになってしまう。小学校は中学校よりも授業が 5 分短いので午前中だけでも 20 分違う。

- ・ 小学校では「よく噛んで食べましょう」と指導されるが、中学校に入ると昼食時間が短くよく噛んで食べるなど難しい状況である。
⇒ 生徒へのアンケートで1年生から昼休みの時間が短いとの苦情が1件ありました。現在も時間割の改善・工夫を図っているところであります。
- ・ 今回のアンケート結果が良かったら、話は違って来たのではないかと？
⇒ 大磯町において、全員喫食による中学校のデリバリー給食が平成28年1月に始まりますので、注視していきたいと考えています。
また、教育委員会委員によるデリバリー給食の先進地視察として平成27年10月に愛川町に伺いました。希望制で実施していますが、実際に開始してみたところ利用者の伸び悩み等の問題も出てきていると聞きました。今回のアンケート結果や近隣の状況、そして本日皆様からいただいた貴重なご意見を踏まえて、ご判断いただくこととなると思います。
- ・ 自分の小学校時代はセンター方式の給食で美味しいイメージが無かった。自校式であれば安心で良いイメージがある。
- ・ もっと違うところにお金を使うべきであると思う。

給食の導入の可能性

- ・ 町が中学校給食をやらなければならない理由は何か？
⇒ 法律に努力義務規定があり、デリバリー給食に関して言えば施設建設の諸経費や固定化の問題をクリアするとともに、民間の優位性や衛生面・安全面の担保が図られる点であります。そこで、実際にデリバリー給食について皆さんがどのように考えているのかを聞くために今回のアンケートを実施しました。
今回の結果を見ますと、当事者である中学生の意見の約8割は賛成していませんことがわかりました。
- ・ これからは更に少子化が進むと考えられる。そういった中で今、中学校給食を開始する時期では無いと考える。以前、町に提案したことがあるが、3小学校のうち1つを将来中学校にして通学にはバスを走らせる。そういう整理をしたうえで中学校給食の導入について検討すべきだと思う。デリバリー方式であっても、受け入れのための整備は必要になることから、無駄な負担に成りかねない。
⇒ 少子化を受けて小中一貫という考え方の中で、湯河原の学校施設も将来的にはどこかの小学校と中学校が一貫校として統合することも流れの中で考えていくことになるかと思えます。
- ・ 今回のアンケートでは、小・中学校の保護者の中に給食開始への期待感を持っている方もいるのではないかと。以前、中学校で弁当の手配を行ったとのことであるが、その結果はどのようなになったのか。
⇒ 希望制で注文を取って実施したようであるが、直ぐに終わってしまいました。今後、中学校給食を実施するのであれば町では全員喫食と考えています。
⇒ 茅ヶ崎市では給食ではないが、中学校でコンビニ弁当の受注の体制を整え、1食当たり500円位と聞いています。
- ・ 近隣の町の状況はどうか。
⇒ 箱根町では、中学校の統合の際に自校式により中学校給食を実施しています。真鶴町は、中学校給食について検討委員会を立ち上げ実施に向けた検討をしてい

- ると聞いていますが、真鶴町では給食ではなく購買の要望が多いとのこと。
- ⇒ 購買であれば職員等を貼り付ける必要があると考えられます。
- 町が全員喫食でデリバリー方式による中学校給食をやると明言すれば済んでしまうと思うところでもあるが、最終的な判断はどうか？
- ⇒ 教育委員会委員と町長等の町部局で構成する「総合教育会議」が平成 27 年度から組織されました。その会議の場において、2 年越しの課題である中学校給食について議論いただき、近く結論が出されるものかと考えています。

湯河原中学校給食検討委員会委員名簿

No.	役職名	氏名等	備考
1	中学校長	湯河原中学校長	
2	小学校長の代表	湯河原小学校長	
3	中学校PTA会長	湯河原中学校PTA会長	副委員長
4	中学校PTA副会長	湯河原中学校PTA副会長	
5	中学校PTA副会長	湯河原中学校PTA副会長	
6	中学校PTA副会長	湯河原中学校教頭	委員長
7	中学校PTA会計	湯河原中学校PTA会計	
8	小学校PTA会長の代表	吉浜小学校PTA会長	
9	小学校栄養士	東台福浦小学校栄養士	
10	中学校養護教諭	湯河原中学校養護教諭	
11	教育委員会事務局長	事務局長	
12	教育委員会 学校教育課長	学校教育課長	

(平成26年9月1日現在)